

【業界初】代ゼミが「記述式を AI 採点する現代文トレーニング」をリリース 記述式 AI 採点の技術を活用した教材を開発

学校法人高宮学園代々木ゼミナール[本部：東京都渋谷区／理事長：高宮英郎]（以下、代ゼミ）は、国立研究開発法人理化学研究所革新知能統合研究センター自然言語理解チーム[チームリーダー：乾健太郎]（以下、理研 AIP）が開発した「記述式 AI 採点の技術」を活用し、現代文における記述式問題の自動採点を含む高校生向けトレーニング教材の提供を 2021 年 7 月に開始いたします。

代ゼミと理研 AIP の共同研究の成果

代ゼミと理研 AIP は 2017 年度より共同研究を開始し、記述式問題の自動採点に関する研究を進めてまいりました。研究の基礎資料を代ゼミが提供し、理研 AIP が教育・学習を支援する自然言語処理技術の一つとして「記述式 AI 採点の技術」を開発しました。

記述式問題は学習者の思考力、表現力養成に欠かせないものである一方、採点にかかる時間や労力などの負担が大きい点に課題があります。この度リリースする本教材は、こうした課題を解消し、教育現場の先生方や学習者を支援することを目的に開発したものです。AI 採点の即時性という利点を生かして、演習直後の復習により、学習効果向上の一助になればと願っております。今後も、教育現場の先生方のお声をお聞きしながら、一緒に課題解決に取り組んでまいります。

課外授業の教材や長期休暇中に活用できる自学自習用教材として

「記述式を AI 採点する現代文トレーニング」教材は、大学入試対策を意識した 9 回分の問題を収録し、選択式問題と記述式問題のいずれの形式でもトレーニングが可能です。記述式の問題については、AI がそれぞれの採点基準をもとに採点します。その後、代ゼミ講師による解説動画を視聴して復習することで、記述式答案作成のスキルアップが図れます。このことにより記述式問題も効率的に自学自習が可能となるため、課外授業の補助教材や長期休暇中の学習課題としても柔軟にご活用いただけます。

ポイント採点例

- | | |
|--|---|
| <p>A 「西洋（では）」（= 話題の中心） ……2 点</p> <p>B 「他人を自分とは異なる考え方をもち人間と（見なす）」 ……5 点</p> | <p>C 「（自分の意見に）同意を得るために」 ……3 点</p> <p>D 「言葉を尽くして他人を説得する」 ……6 点</p> <p>文末が「～こと。」「～事。」でないものは、1 点減点</p> |
|--|---|

解答例 1

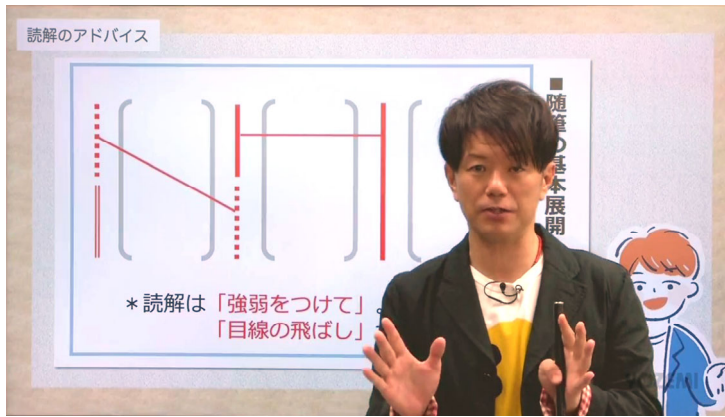
西洋文化の基底には、**B**「対決」のスタンスがあるため、西洋人は**A**他人に**C**分かっ
てもらうために**D**言葉を尽くし自分の考えを伝えようとする。

| | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| A | B | C | D |
| 2/2 | 2/5 | 3/3 | 4/6 |
| 合計点：11 点 | | | |

解答例 2

西洋人は**C**他人に**D**分かってもらわうために**A**言葉を**B**尽くして説得するが日本人は
暗黙の前提に寄りかかる。こうした違いから**D**饒舌な**A**西洋文化はできている。

| | | | |
|----------------|----------|----------|----------|
| A | B | C | D |
| 2/2 | 0/5 | 3/3 | 6/6 |
| 文末 -1 合計点：10 点 | | | |



「記述式を AI 採点する現代文トレーニング」教材の概要

- 商品名：「記述式を AI 採点する現代文トレーニング」
- 内 容：①問題セット（問題 9 回分、解答用紙、解答解説） ※「評論」と一部「小説」を含む現代文
 ②SMS(*)上で視聴可能な解説動画（総収録時間 3 時間 17 分）
 担当講師：船口 明（代々木ゼミナール教育総合研究所主幹研究員）
 * SMS とは、代ゼミのサテラインゼミを視聴できるシステムのことです。
- 販売方法：高等学校等の団体向けに販売予定（販売価格 税込 2,000 円）
- 提供開始：2021 年 7 月 1 日以降

なお本教材の自動採点システムのインフラ構築（クラウド）に関しては、株式会社 Fusic（<https://fusic.co.jp>）より技術提供を受けております。

本教材の提供元

学校法人高宮学園 代々木ゼミナール
 理 事 長：高宮 英郎
 本 部：東京都渋谷区代々木 2-25-7
 U R L：<https://www.yozemi.ac.jp/>

<本件に関する報道関係のお問合せ先>

SAPIX YOZEMI GROUP 担当：代々木ゼミナール広報企画部（加藤・松井）
 TEL：03-3379-5221 E-mail：[pr_info\[at\]yozemi.ac.jp](mailto:pr_info@yozemi.ac.jp)（[at]を@に変えてください）
 代々木ゼミナール Web サイト：<https://www.yozemi.ac.jp/>
 教育総合研究所 教育研究開発室：<http://www.yozemi-eri.com/>

SAPIX YOZEMI GROUP